

私立大学図書館協会 2015 年度第 1 回常任幹事会議事要録

日 時：2015 年 4 月 10 日（金） 15 時 00 分 ～ 16 時 30 分
場 所：東洋大学白山キャンパス 甫水会館 4 階 特別会議室
出席者：名簿のとおり

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。
議事進行は、東洋大学図書館長・青木辰司が担当した。

[報告事項]

1. 協会会務報告

会長校（東洋大学・千葉）より、配付資料（p. 3-4）に基づき、2014 年度第 2 回東西合同役員会（2015. 3. 6）以降の報告が行われた。

(1) 加盟校数について

加盟校数は、2014 年度第 2 回東西合同役員会（2015. 3. 6）以降、東地区部会より脱退届が 1 件あり追加された。

（脱退校：大宮法科大学院大学図書館 理由：大学閉鎖、図書館閉館のため）

(2) 館名変更

2014 年度第 2 回東西合同役員会（2015. 3. 6）以降の変更なし。

(3) 加盟校への書類等の送付について

加盟校宛に書類送付および関連団体のお知らせをメール・HPにて周知を行ったとの報告がされた。

2. 2015 年度協会役員校、委員会および協会関連団体等委員について

会長校東洋大学(千葉)より配付資料（p. 5-7）に基づき、2014 年度第 2 回東西合同役員会（2015. 3. 6）以降の異動について報告がされた。

3. 2015 年度行事・会議予定について

会長校東洋大学(千葉)より配付資料（p. 8）に基づき、2015 年度行事・会議予定について報告が行われた。

[協議事項]

1. 2014 年度一般会計・特別会計決算報告（案）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 9-12）に基づき、2014 年度第 2 回東西合同役員会（2015. 3. 6）以降に変更となった箇所の説明が行われた。同決算については、

2015年4月3日付で広島修道大学図書館が、4月4日付で立教大学図書館が監査を行い、適正であったとの監査報告書が提出されており、協議の結果、異議なく承認された。

2. 2015年度事業計画（案）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.13-14）に基づき、2014年度第2回東西合同役員会（2015.3.6）以降、大きな変更点はない旨の説明があり、異議なく承認された。

3. 2015年度一般会計・特別会計予算（案）

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.15-17）に基づき、2014年度第2回東西合同役員会（2015.3.6）以降に変更となった箇所の説明が行われた。変更箇所は、決算に伴う繰越金および特別会計の研究助成採択結果を反映した箇所である。この内容を承認し、協議の結果、異議なく承認された。

4. 第76回（2015年度）総会・研究大会について

会長校（東洋大学・千葉）より配付資料（p.18-19）に基づき、2014年度第2回東西合同役員会（2015.3.6）以降に変更となった箇所はないとの説明が行われた。協議の結果、異議なく承認された。

5. ISOプロトコル変更に対するNACSIS-ILLの対応について

会長校（東洋大学・千葉）より配付した参考資料（p.1-4）に基づき、国公立大学図書館協力委員会からの検討依頼内容について説明が行われた。また、この依頼内容の検討を行った「これからの学術情報システム構築検討委員会」の委員（立命館大学・近藤）より補足説明がされた。協議の結果、異議なく「これからの学術情報システム構築検討委員会」での検討結果の提案が承認された。

6. 地区協議会の役員会活動費支給拡大の要望について

会長校（東洋大学・千葉）より配付した参考資料（p.5-33）に基づき、西地区部会会長校の活動報告より、西地区部会役員会や常任幹事会等に対して検討依頼があった地区協議会の役員会活動費支給拡大の要望についての概要説明が行われた。協議の結果、今後の検討方法として、まずは西地区部会での現状の問題点等を整理・検討を行い、改めて常任幹事会へ諮ることとなった。

[懇談事項]

1. 2014年度国際図書館協力委員会について

会長校より標記委員会活動見直しの加盟校提案について報告があり、この件は2015

年度委員会で検討を行い、委員会での検討結果を常任幹事会・役員会等で検討していくことを確認した。

また、前会長校より 2014 年度国際シンポジウムの経費処理について、決算処理は一部未整備な部分もあるがルールに基づき処理がなされ完結している。シンポジウムの成果は十分果たしている旨の報告があった。参加者による意見が出され、今期は委員会と会長校が調整を行い適切に対応していくことを確認した。

2. 協会ホームページのロゴの扱いについて

会長校より参考資料 (p. 34) に基づき報告があった。このロゴについては、2012 年度に協会ホームページを全面改訂した際に、委託業者が改定後のホームページ全体のデザインの一部として提案し認められたことから使用している。業者もこのロゴを協会が使用することについては了解済みである。但し、協会ではロゴを単体で審議したことはなく、今後の扱いについて話し合った結果、ロゴ自体は J-P E G で解像度も悪いことから、当面はホームページのみの利用とし、その他 2 次利用は行わないことを確認した。

3. 総会・研究大会の議長候補について

会長校（東洋大学・千葉）より、第 76 回（2015 年度）総会・研究大会の議長候補について、従来の選出ルール（総会開催地区は館長職、他地区は事務長職）に基づき、次年度部会総会当番校である東地区の東京理科大学、西地区の福山大学へ東西部会長校から依頼し、会長校へ 5 月中に議長候補を報告するよう確認された。

議長候補選出について、次年度については選出方法の見直しを検討した方が良いとの意見が出された。2015 年度は、従来どおりの候補選出にて依頼を行う。

<配付資料>

- ・ ISO プロトコル変更に対する NACSIS - ILL の対応について (p. 1~4)
- ・ 私立大学図書館協会 2013 年度 - 2014 年度活動報告書 (p. 5~30)
- ・ 日本医学図書館協会要覧 2014 (p. 31~33)
- ・ 私立大学図書館協会 HP トップページ画面 (ロゴマーク) (p. 34)
- ・ 2014 年度国際図書館協力委員会における国際シンポジウムの経理処理について (別紙)